



第41回近畿高等学校 総合文化祭 滋賀大会が開催



発行
膳所高校
新聞班



滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールでのフィナーレ

2021. 11/13(土) ▶ 11/21(日)

高校文化部による記念すべき祭典、第41回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会が、私たちの愛すべき故郷滋賀県で行われた。
総合開会行事は11月14日(日)午後2時〜午後4時、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを会場に、県内6校からなる日本音楽部会による華やかな邦楽演奏「きらめく湖から」がオープニングを飾った。

コロナ禍でも負けない

膳所高生による
堂々たる大会宣言



膳所高校2年 中川朝陽君

文化部の祭典

湖国滋賀に花開く



第1部式典では参加した10府県の紹介も行われた。各県の個性豊かな魅力あふれる紹介映像に、会場からは「感染流行収束後は、ぜひ観光地を訪れたい」との声も聞こえた。
フィナーレで歌われた新しい滋賀県の歌「びわ湖トワ」の合唱は感動の嵐を巻き起こし、会場全員の心に残る素晴らしい総合開会行事となった。

第1部式典 府県紹介



10年に一度の大舞台!

滋賀県の良さを再発見

栄誉ある大会宣言を大会副委員長である膳所高校2年の中川朝陽君が高らかに声を上げた。高校生らしい活気あふれる宣言は、更なる滋賀大会の盛り上がりを感じさせた。中川君は語る。「このような場所を作っていたらいい、感謝の気持ちしかありません。滋賀大会は10年に1回しかありません。何が何でも成功させると決意しました。この経験を通して、滋賀県内の高校生とのつながりが深まり色々な価値観を知り、滋賀の良さを再発見できました。滋賀はすごい!」。

緊急事態宣言の発令により会合の回数は減少し、開催自体も危ぶまれた。式典終了時高校生たちの目から涙が流れる姿も見つけた。この困難を乗り越えての彼らの熱い思いは、必ずみんなの勇気となるに違いない。関係者の皆さん本当にありがとうございます!

マスコットキャラクター

湖楠
(うみな)

滋賀県の花
シャクナゲが
モチーフ



きらめく湖から

大会テーマ

つなぐ絆 文化の息吹



第2部 膳所高校が大活躍

湖國浮世絵八景
～俵藤太太百足退治伝説

浮世絵第三景 「勇猛なる俵藤太」

第二景 膳所高校から見た演技



開会行事第2部では滋賀県に伝承される民話『湖國浮世絵八景』俵藤太太百足退治伝説をテーマとしたデモンストラクションが行われた。

第2部の進行は、膳所高校から、1年生の藤田紗弥子さん、宮嶋ひなのさんによる司会で行われた。無事大役をやり遂げた2人。

今回の感想を聞くと、「滋賀県内だけではなくたくさんの高校生と友人になれたことが、生涯忘れることのできない一番の思い出です」とこぼれるような笑顔で語った。

膳所高校をはじめ、県内7校の合同合唱団による組曲「海の詩」から2曲が歌われた。見事な歌声で熱唱、会場に感動を響かせた。第二の景では膳所高校から見た演技にまつわる和歌を使った力強く美しい演技を披露した。この後、第七の景のフィナーレ「びわ湖トワ」まで、高校生のレベルをはるかに超えたパフォーマンスに、会場は大いに盛り上がった。コロナ禍による数々の制限を吹き飛ばし、第八の景として始まる17部門の大会の成功を予感させる素晴らしいアトラクションとなった。



浮世絵四景 「瀬田川に潜む龍の願い」

会場配布された 手作りコースマップ

彦根市
キャラクター
ひこにゃん新聞班
IN
彦根

彦根東高校で講演を聞く



新聞部門大会は20日(土)21日(日)両日開催された。開会式は米原市の滋賀県立文化産業交流会館で行われた。編集会議を終え、参加した各校の新聞部員は、班ごとに長浜コース・彦根コースに別れ、取材活動を行い新聞を製作した。今後の取材活動に活用できる貴重な体験の数々に各部員は心から喜んでいった。

真剣なまなざしで見つめる新聞部員の姿があちこちで見受けられた。

滋賀県立文化産業交流会館のイベントホールには各校の熱意のこもった新聞が展示された。



新聞展示 (イベントホールで)

四番町スクエア



「滋賀には見どころがいっぱい！こんなに楽しいとは予想以上。もっとアピールしてほしい」

他府県の生徒の声に新聞班の責任を感じた。2日となった。

晴天の下、彦根城近くの下、彦根城の中、各校の交流を深めました。最初緊張していた高校生も可愛いひこにゃんに会い、近江牛コロツケをほおばりご満悦。



「おいしい」 近江牛コロツケ！